

令和2年度寿楽荘事業計画・収支予算(抜粋)

I 基本方針

団塊の世代が利用者となる時代を迎え、特別区では特養のベッドが不足しているとの情報もありますが、西多摩地区では決して正確な情報とは言えず、寿楽荘も新規入所者を確保することが困難となっています。施設によっては働き手が確保できず定員を割ってしまうケースも発生していることから、今後10年で特養ホームは大きな転換期を迎えるのではないのでしょうか。介護保険制度が施行されて20年、保険財政が年々厳しい状況となっているなかで、寿楽荘のような大規模施設は現状を維持しながら将来への備えも課題となります。定員の削減や設備機能の転用なども視野に入れながら、利用者の暮らしと職員の生活を守るため、時代の変化に柔軟に対応できればと思います。

昨年と同様に働き手の確保は極めて深刻と言わざるを得ない状況が継続していますので、EPA介護福祉士候補生や技能実習生の受入れを、現場の実習指導職員の負担も視野に入れながら確実に増やしていきたいと思っております。上記の人材は単なる労働力確保ではなく、本来の目的は介護福祉士資格や技術の習得であり、施設の安定運営における有資格者割合など介護報酬加算要件にも影響するため慎重に取り組んでまいります。そのようななかで新たな働き手確保の方策として、“特定技能・介護”の動向にも目を向けてまいります。

また昨今、家族の要望やクレームは限りなく多様化し、施設職員の疲弊の一因となっています。在宅生活や老健・有料ホームの利用と違い特養で出来ること・出来ないことを丁寧に説明して、ご家族からも保険者からも更には東京都からも誤解を受けないサービスの提供に努めます。

1 重点目標

①組織力の強化

それぞれの立場において資質の向上・職種間の連携強化に努めるほか、親和会活動なども利用し協調性を養い信頼関係を構築します。

②創立時よりの理念(理想)、目標の周知と再認識

「愛情、人の和、信頼関係の中での慈悲を理想に利用者自身が主体となって生活をエンジョイできる施設を目指していきます。」これら理念と目標の周知・再認識に努めます。

③介護報酬各種加算を請求できる体制づくりと稼働率の確保(財政基盤の安定化・強化)

④人材確保のための取組み・体制整備

若年層の雇用促進と再雇用制度の充実および外国人材の確保。

⑤労働環境の整備

衛生委員会の機能強化により労働環境の適正化に努めます

2 計画

1. 中長期計画に添った施設稼働率96%(要介護度4.0)、ショート稼働率100%の達成を目指します。

2. 老朽化設備、機器等の計画的な更新と修繕による対応を図ります。

(利用者の安全面に配慮した機器への変更)

3. 若年層の雇用促進と再雇用制度の充実

ハローワーク・教育機関と連携し町内・外の新卒者並びに若年層の雇用の促進を図ります。また、再雇用制度については誰もが安心して長く働けるよう環境整備に取り組めます。

4. 外国人材の確保

EPAフィリピン介護福祉士候補生の就労支援とともに、インドネシア介護技能実習生の受入れ、介護分野における特定技能在留資格の動向にも注目し労働力確保を図ります。また外国人労働力確保には、既存職員や地域住民の理解・協力も不可欠となるので双方の調整に努めます。

5. 自立と尊厳ある生活支援

介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)は通過施設ではなく終の棲家です。充実した終末期を過ごしていただけるようサービス提供に努めます。

6. 職員の更なる資質向上に向け、キャリア段位制度の活用、双葉会研修規程に基づいた研修への参加を計りながら職員の育成に努めていきます。

7. 災害時対策強化

近年頻発する台風や大雪ほか自然災害発生時の業務継続を目的として、施設設備の整備・充実に計画します。

8. 現場職員の負担軽減・業務省力化につながる取り組み

業務省力化対策として音声入力ソフトを導入します。OA化に舵を切めることは現状では離職者発生リスクも含まれますが、将来を見据えての対策としPCの基本操作講習も検討します。

※ 詳細は事業計画書をご一読ください。

資金収支計算書(当初予算)		
勘定科目		寿楽荘会計
事業活動収入計①		836,027,000
事業活動支出計②		797,455,000
事業活動資金収支差額③(①-②)		38,572,000
施設整備等収入計④		0
施設整備等支出計⑤		48,409,000
施設整備等資金収支差額⑥(④-⑤)		-48,409,000
その他の活動による収入計⑦		12,416,000
その他の活動による支出計⑧		2,000,000
その他の活動資金収支差額⑨(⑦-⑧)		10,416,000
予備費支出⑩		579,000
当期資金収支差額合計⑪(③+⑥+⑨-⑩)		0
前期末支払資金残高⑫		368,015,376
当期末支払資金残高⑬(⑪+⑫)		368,015,376